

# SBS CUP

国際ユースサッカー

第2日

# 日本 静岡にPK戦勝ち

SBSカップ国際ユースサッカー(日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催)第2日は17日、愛鷹広域公園多目的競技場で2試合を行った。U-18(18歳以下)日本代表は静岡から白

きのうの結果

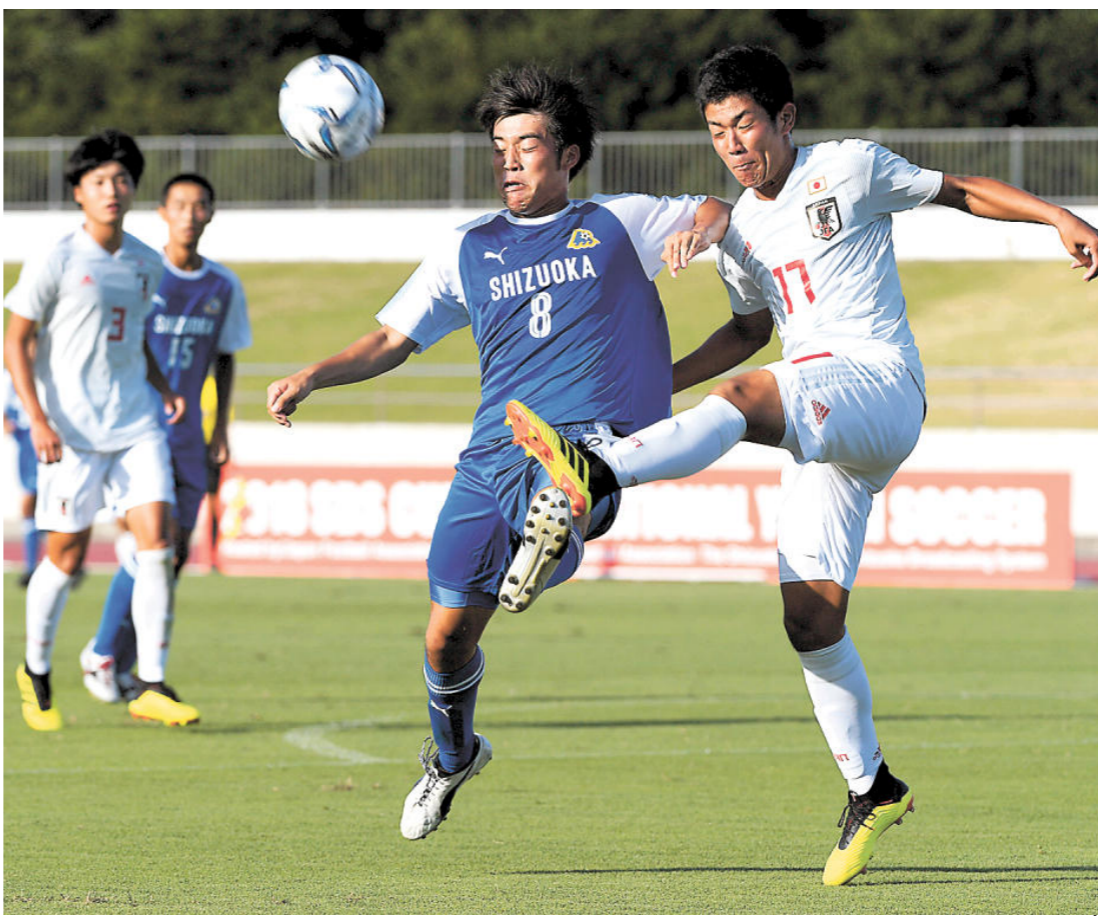
日本0-0静岡
(PK3-2)
オーストラリア3-0パラグアイ
オーストラリア15-0パラグアイ
オーストラリア17-30パラグアイ

会場は草薙陸上競技場

星は4年ぶり。U-18パラグアイ代表はU-18オーストラリア代表を3-0で下した。パラグアイが勝ち点4の2位、静岡が同3の3位。勝ち点0のオーストラリアは優勝の可能性がなくなった。最終日は19日、草薙陸上競技場で静岡-オーストラリア、日本-パラグアイを行う。

【評】日本と静岡は決定力を欠き、互いに無得点。PK戦で日本が勝利した。

前半は日本が鋭いプレスでリズムをつかんだ。上月、榎本らがゴールに迫ったが、枠を捉えるシュートは少なかった。後半は静岡ベイス。39分の斎藤のシュートはゴール寸前で相手DFがクリアした。PK戦は日本のGK相沢が2本止めた。



静岡ユースU-18日本 前半、静岡ユース・佐野の突破を防ぐU-18日本・起(右) 愛鷹広域公園多目的競技場

## 守備陣奮闘 決定機許さず

日本はPK戦を辛くも制し、4年ぶりに静岡ユースを下した。後半は相手に流れを渡したが、2試合連続で無失点。守備陣が体を張ってボールをね返し、決定機を許さなかった。

序盤は積極的にミドルシュートを放ち攻撃にリズムを生んだ。だが、静岡ユースの球際の強さにてこずり、次第に勢いを失った。パスミスが目立ち始め、観衆を沸かすような攻撃の場面は少なかった。ゲーム主将の福岡(京都ユース)は「静岡が前のめりになった時にペースがつかめなかった」と厳しい時間帯の打開力に課題を残した。

PKではGK相沢(日本文理高)がシュート2本を止めた。190分の守護神は「相手の軸足をじっくり観察して蹴る方向を読み切ることができた」と胸を張った。

勝ち点を5に伸ばし、最終戦のパラグアイに勝てば5年ぶりに優勝が決まる。このチームでは次が最後だが、代表として戦う気持ちを見せてほしい」と影山監督。頂点を勝ち取るのももちろん、選手には今後目の丸を背負う自覚を持つことも求めた。

(秋原正司)

百本 4:4:2

相沢 82
SHCKFK 11366
GK 6

梅山平監督(清瀬陸上) 4:4:2

▽交代 清水(清水) 4:4:2

木八木・清水(清水) 4:4:2

田・静岡(静岡) 4:4:2

崎・青森(青森) 4:4:2

崎ユース(静岡) 4:4:2

ス・榎本(静岡) 4:4:2

岸本・市船橋(静岡) 4:4:2

## 狙い通りもあと一步 静岡

狙い通りの試合展開に持ち込んだ静岡だが、あと一步で白星を逃した。序盤の劣勢から流れを引き戻し、後半は押し気味に進めた。だが、終了間際の斎藤の決定機は寸前でクリアされ無得点に終わった。渡辺監督は「最

後は静岡の流れだった。1点も取れなかったのは誤算だった」と悔しさをにじませた。指揮官が「ハイレベル」と称する守備陣が日本の攻撃を封じた。相手にボールを持たれず、ゴール前への進入を許さない。DF監督は「バランスよく守れていた」と決定機を与えなかった。

序盤に最終ラインからロングボールを多用した選択は「作戦通り」とDF平松。リスクを合点した。優勝するチャンスはある。万全の準備をしたい」と最終戦に目を向けた。

(岡田拓也)



U-18パラグアイU-18オーストラリア 前半30分 先制ゴールを決める U-18パラグアイ・ボガード(中央) 愛鷹広域公園多目的競技場

# パラグアイ 豪に完勝

パラグアイ 3-0 オーストラリア

▽得点者(△ボガード2(なし)、なし) ロメロ(ボガード)

【評】パラグアイが3得点してオーストラリアに快勝した。パラグアイは前半30分、左サイドからの折り返しをボガードが押し込んで先制。後半も主権を渡さず、ゴール前の混戦から2点を追加した。オーストラリアは攻撃に精彩を欠き、シュート2本に終わった。

効率的に攻撃封じた

U-18パラグアイ代表グスタボ・モリニゴ監督の話 中盤でボールを奪える選手を起用し、効率的にオーストラリアの攻撃を封じることができた。(最終戦の)日本は手ごわい相手。戦術をじっくり考えたい。

パラグアイ全て強かった

U-18オーストラリア代表ミリッチ・アンソニー監督の話 パラグアイは全ての面で強かった。体調を崩した選手が多く、本来のポジションではない選手がいた。そこが残念だった。

平成30年(2018年) 8月18日(土曜日) 付け静岡新聞朝刊より